

■ 時間割番号	■ 科目名[英文名] 森林産業育成論 [Forest Industrial Development]	■ 単位数 1
■ 担当教員(責任)[ローマ字表記] 本藤幹雄 [Hondo Mikio]		
■ 担当教員[ローマ字表記] 本藤幹雄 [Hondo Mikio]		

■ 授業題目(必須入力)

森林産業育成論 [Forest Industrial Development]

■ 授業のキーワード(必須入力)

林業構造改善、林業行政、林業成長産業化、地域づくり、森林機能評価、将来に向けた森林経営の考え方

■ 授業の目的(必須入力)

授業では、林業の成長産業化に向けて何を行うべきかをテーマとし、地域林業の現状把握と、そこから掘り起こされる課題発見を行う方法について学びながら、課題解決に向けた取り組みについて多面的に考える。また、人口減少時代において、どのように森林を管理していくかを、平成31年度より導入される新制度「新たな森林管理システム」や「森林環境譲与税」などを含めて学び、今後の中山間地域のあり方について考える。

■ 授業の到達目標(必須入力)

- GISやドローンなど新しい技術から得られるデータを使用して森林の現況を把握できる。
- 各種データを収集分析し、地域の林業構造の現状を多面的に捉えることができる。
- 把握した現状から課題を発見し、地域林業の成長産業化に向けた提案を行うことができる。

■ 授業概要(必須入力)

- 林業の歴史と現状について、具体的な事例を学び現状における地域林業の課題を考察する。
- 新たな技術を利用した森林管理手法を現場に適用し、その結果が関連産業分野や地域に及ぼす波及効果について考察する。
- 地域林業構造を、木材流通面、金銭流通面、構成主体面などの側面から捉え多面的に考察し、その課題を考察する。
- 多様な課題の解決方法について、各種政策を含めて考察し、林業成長産業化に向けた提案を検討する。

■ 授業スケジュール(必須入力)

【1日目:4コマ】

林業の歴史と現状及びその課題について

- 中山間地域における林業の歴史～久万高原町を事例に～
- 新しい森林管理技術及び新制度の導入と課題

地域林業の情報収集と分析について

- 情報収集及びその分析方法

【2日目:4コマ】

地域林業の構造について

- 現在の林業構造と課題
- 日本林業と欧州林業との比較

林業成長産業化について

- 林業成長産業化に向けた取り組み事例紹介
- 林業成長産業化に向けた課題解決に係る提案(ディスカッション)

■ 授業時間外学習にかかわる情報(必須入力)

授業時間内の講義内容を反復したり、参考書等を用いてより理解を深めること。講義終了後に、講義内容や現場での学習について成果や課題のとりまとめを行わせることもある。

■ 成績評価方法(必須入力)

- 課題レポート1部(100点)

■ 受講条件(任意入力)

全課程を履修できることが望ましい。

受講のルール(任意入力)

グループワークへの積極的な参加、ディスカッションを楽しむこと。

教科書(購入する必要がある図書)(必須入力)

教科書1	書名	—			ISBN	
	著者名	—	出版社	—	出版年	
教科書2	書名				ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

参考書(購入する必要はないが、推奨する図書)(必須入力)

参考書1	書名	四手井綱英が語る これからの日本の森林づくり			ISBN	9784779503931
	著者名	四手井綱英 他	出版社	ナカニシヤ出版	出版年	2009
参考書2	書名	日本人はどのように森をつくってきたのか			ISBN	4-8067-2240-5 C0036
	著者名	コンラッド・タットマン	出版社	築地書館	出版年	1998
参考書3	書名	先進国型林業の法則を探る—日本林業成長へのマネジメント			ISBN	ISBN978-4-88138-245-5
	著者名	相川 高信	出版社	全国林業改良普及協会	出版年	2009
参考書4	書名	日本林業はよみがえる			ISBN	978-4-532-356457-2 C3033
	著者名	梶山 恵司	出版社	日本経済新聞出版社	出版年	2009
参考書5	書名	愛媛発・農林漁業と地域の再生			ISBN	978-4-8119-0444-3
	著者名	村田 武 編	出版社	筑波書房	出版年	2014

教科書・参考書に関する補足情報(必須入力)

必要なレジュメや資料は講義当日印刷物で配布します。「林業成長産業化地域構想(久万高原町地域)」をネットで検索するとpdfファイルがくア高原町のHPで閲覧可能です。講義で使用しますので予習しておいてください。

オフィスアワー(必須入力)

講義前後もしくはメールで対応

連絡先(必須入力)

本藤幹雄: m-hondou@gray.plala.or.jp

参照ホームページ(任意入力)

その他(任意入力)

人口減少時代に突入していく中で国土の大半占める森林をどのように管理していくのか、そしてその管理をどのように行うべきかを考えてほしいと思います。また、都市部への人口集中が進む中で、中山間地域の持続性をどう確保していくのか議論を行っていきたいと考えます。